

日本農學會同人會次列第卅四號

12



社土文止世業指社遠

昭和八年六月八日

林也



東京中ノイロ日本日一回無事誠平社新而地其不卑如騰遊古申土類也
我習洞查小至而本會得式員則與茲又于息取凡ノ共ニ日本效而語式也

文外事務

文外事務

昭和八年六月廿日

4. 7

H-0589

次官

會計課長

検査

收入支出掛

掛

八年度

昭和八年四月五日起案
昭和八年四月七日決裁

第一課長

第二課長

文化事業部長

日本農學會大會參列滿洲國學者ニ對スル

本邦視察手當補給ニ關スル高裁案

財團法人日本農學會ニ於テハ本年四月八、九兩日東京駒場東京帝國大學農學部ニ於テ第四回日本農學大會ヲ開催スルコトナリタル處滿洲國側ヨリ奉天省實業廳長徐紹楨、滿洲國實業部總務司調査課長王慶三及莊開水ノ三名ヲ招待シ度ニ付之カ經費補給アリ度旨同會々

外務省

7.11

長古在由直ヨリ當方へ申出アリタリ

右ハ日滿學者間ノ智識交換文化聯絡上裨益スル所尠カラス對支文化事業トシテ有意義ナル計畫ト認ムルニ付昭和八年度對支文化事業特別會計事業費ノ項購演及視察費ノ目ヨリ右三名ニ對シ視察手當トシテ各金五百圓合計金壹千五百圓也ノ額ヲ支出スルコトト致度
右仰高裁

当地拂

七切年ハ各人別ニ作成ヲ
別紙ニシマス

外務省

7.11

H-0589

東京市外目黒町 東京帝國大學農學部農學教室內

領收書

金壹仟五百圓也

旅費御二分

右金額正領收候也
昭和八年四月七日

徐紹卿 (印)

王慶三

井上南永

農學部農學會
御中

係紹卿外
名目月宛
252-21
局之於
名目宛
人等宛
一月宛

財團 農學部 農學會

H-0589

急

公普通第二六八號

昭和八年三月三十一日

第一課

昭和八年四月

別紙

在滿洲國

特命全權大使 武藤 信

外務大臣伯爵 内田 康哉 殿



日本農學會大會ニ滿洲國學者招待ニ關スル件

本件ニ關シ客月二十三日附文化一普通第八八號貴信ヲ以テ御訓令ノ
趣敬承早速外交部ニ照會シ置タル處本月二十九日附本使宛書翰ヲ以
テ別紙寫ノ通照復ノ次第アリ不取敢電報ヲ以テ及報告置タルカ委細
右ニ就キ御了承相成度シ

在滿日本帝國大使館

H-0589

寫

外政公函第一四九號

大同二年三月二十九日

外交部次長 大橋 忠 一

在滿洲國

日本帝國特命全權大使 武 藤 信義 殿

以書翰啓上致候陳者本月十一日附貴翰公文普通第五〇號ヲ以テ來ル
四月東京ニ於テ開催セラルヘキ第四回農學大會ニ滿洲國側農學者招
待方御申越相成敬承致候右關係官廳ニ移牒シ置キ候處今般左記要項
ノ通り三名ヲ派遣方決定ノ旨通報有之候條御了承相成度尙目下未定
ノ者一名有之決定ノ上ハ追加致スヘク此段申添旁本總長ハ茲ニ重ネ
テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬 具

在滿日本帝國大使館

記

一 派遣者姓名及略歴

王 慶 三 日本北海道帝國大學農學部林科出身
現任實業部總務司調查科長

莊 開 永 日本東京帝國大學農學部農學科出身
現任實業部農礦司農務科

二 出發期日及旅程

四月一日 新京出發 同三日京城着 (一泊) 同四日京城發、
同四日 釜山着 同四日釜山發 同五日下關着、
同五日 下關發 同六日東京着

會議參加及各處參觀

四月十一日 東京出發 京都、倉敷、福岡、各處參觀

在滿日本帝國大使館

三月
奉天高等農學
院長 佐野
加入手子ノ下
法定

同十八日 大連着
同十九日 新京着
三、講演題目未定

在滿日本帝國大使館

H-0589

6.1

文化事業費

6608 號
193307303040

電信課長 9 電信案

昭和八年四月壹日
(原簿用紙甲) 國納

電信案	外務省	本月二十日付文部省通信課長宛の文部省令(第一號)の件 文部省令(第一號)の件 文部省令(第一號)の件	主 任 第一課長 (起草) 昭和八年五月三十日	主 任 第一課長 日本教育会・南支那教育会 招待状の件 在清四回	宛 武藤大臣	名込 内田大臣
			第一課長	第一課長	第一課長	第一課長

H-0589

文書課長

公 信 案

昭和八年貳月廿七日

附屬物同封

(田號用紙)

文書課發送 昭和八年貳月廿四日發送済

淨書

正(原稿)

(淨書)

主 管 文書課長 坪上

主 任 第一課長

(起草 陸秀 八年 二月 二十日)

普通 第一

號 大正

昭和八年貳月廿四日

附

附屬書

一通

受信 在滿洲國

人名 武藤 大使

發信 人名 内田 大臣

件名 日本農學會大令、滿洲國
學者招待、關於件

名 込 綴

財團法人日本農學會ニ在リテハ 本年四月

月八、九、四日東京ニ於テ 第四回農學大

會ヲ開催スル豫定ナル處 右大令ニ滿洲國

公 信 案

外 務 省

例ヨリ農學者五名以内ヲ招待シ度希御注
 ナル由ニテ右學者派遣ノ斡旋方ニ就キ今
 般同令々長古在由直氏ヨリ當方ニ願出アリ
 タルカ右日滿兩國學界ノ提携ハ杜メテ
 有意味義ノ企ト認メラハ、ヲ以テ當田者トシテハ
 出来得ル限リ援助ヲ供ヘテ同令、趣旨ヲ叶
 (サレノ度ク差當リ右學者招聘經費ヲ

公 信 案

外 務 省

同令ニ補給スル旨御向ナニ付在申合、上満
沙四例ト申打合、上至急令考令者ヲ決定
セシメラレ、其ノ氏名、畧歴、講演題目、
出版期日、経路等~~等~~報告相成度其段
申進ス

公 信 案

外 務 省

追テ農農學令ニ於テハ、未令者ニ對シ一名
ニ付金五百圓ヲ東京到着ト同時ニ提

借スル趣ナリ、尚ホ考考ノ為ノ同令令至係
茅三回大令、次茅書売部 本信添付
市送附スルニ付、可成市利用相成度

別添小印刷物「茅三回日本農學令大令次茅」
一冊其儘市信添付送付ト

公 信 案

外 務 省

H-0589

滿洲國農學代表者參會件

昭和八年二月六日附文書ヲ以テ御依頼申上候末ニ四月八日
九日開催ノ第四回日本農學大會ニ參會、滿洲國農學
代表者ハ左記三名ト決定致候間此段御通知申上候

記

奉天省實業廳長

徐紹郷

滿洲國實業部總務司調査科長

王慶三

莊開永

昭和八年四月四日

財團法人農學會長古在由

外務省文化事業部長坪上貞二殿



各全書
之神
註
註
註
註
註
註
註
註

財團 農 會

財團 農 會

記

文化事業部長坪上貞二殿宛財團法人農學會長

古在由直以ヨリ、滿洲國農學代表者參會ノ件ニ

関心書致達申上候也

昭和八年四月四日

財團法人農學會

印中

電 報

5163
信 務

信 交

電 報 省 印 局 申 認 印 記

ニセシモノセキエキ五ニセハ、
コウジマチク
ガイキムシヨウブ 1251
ンカジ
ゲヨウ
ヨナイマツネラ

ムヨ
シヨクンハハピアサハシ
三〇
フニキチツクヤマサキ
〇曲
ニ
徐
六
リ
洲
ハ
三
〇
介
長
地
ニ
三
〇
三



H-0589



文化事業部 第一課

文藝部 第五十二號 文學總發第 十號

大同元年十一月八日

文教部總長 鄭 孝

昭和七年



(1. 4. 500.000) (印)

謹啓 時下初冬之候貴下愈々御健勝奉慶賀候
 陳者今回貴國名古屋ニテ開催ノ日本學術大會ハ非常ナル盛會裡ニ終了サ
 レタル由誠ニ御同慶ノ至ニ存候。倍今度吾滿洲國代表學者派遣ニ關シテ
 ハ一方ナラヌ御高配ヲ忝ウシ、尙開催中ニハ細々ト御世話ヲ賜リシ由、
 代表者一同ノ感謝ハ申スマテモナク、吾文教部ニ於テモ茲ニ改メテ萬腔
 ノ謝意ヲ表シ候
 今回ノ派遣ヲ機縁トシ、向後日滿兩學術會ノ密接ナル連絡ヲ圖リ、以テ
 眞正ナル東亞文化ノ建設ニ努力致慶所存ニ御座候
 先ツハ乍延引茲ニ謝意ヲ申述度如此御座候

第 0101

H-0589

公文信案

文書課長(高井)

昭和八年四月七日發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

昭和八年四月八日 (甲號用紙)

主 文書課發送

主 任 第一課長

主 任 昭和八年四月七日

主 附 第 半 公 信 號

大正 昭和八年四月七日 附

附 屬 書 一 通

受 信 人 名 帝 室 林 野 局 等

別 記 六 ヶ 所

發 信 人 名 外 務 省 文 化 事 業 部

件 名 滿 洲 國 農 學 者 王 莊 兩 氏
一 便 宜 供 与 方 依 賴 件

名 込 綴

并 啓 陳 者 本 書 持 考 者 滿 洲 國 實 業 部

總 務 司 調 査 科 科 長 王 慶 三 (北 海 道 東 海 道 大 林 科) 同

部 農 務 司 農 務 科 科 員 壯 南 永 (東 京 農 大) 同

公 信 案

外 務 省

7 130

兩氏、今般東京ニ於テ開催、日本農學會
大會、滿洲國例ヲ代表シ其考列セラルル方
有之候處ト核會、本邦ニ於ケル實業
農林方面、見聞ヲ廣メ度趣ヲ以テ申員

局ニ帝室林野局宛
計ニ理化學研究所宛
今ニ産業組合聯合會宛
場ニ農務試驗場宛
大學ニ帝國大學宛
外務省ニ對シテ
ヲ并訪向セラル、等々有

H-0589

之候ニ付右市了知ノ上出来得ニ限リ便宜
 供此方可然市配慮相煩度致段申付
 市知今事及市依頼候也

公 信 案

外 務 省

本信送付先

- 一 市室林野局
- 一 理化学研究所
- 一 産業組合聯合會
- 一 習志野試験場
- 一 東京帝國大學
- 一 中央氣象台

(以上)

公 信 案

外 務 省

H-0589

中書氣象台花一ヶ所追加ニタキ
乙信日附四月廿トテ作(成)其後
凡西行(成)也

四月十日

文化事業部

(印)

文書(承)中

H-0589

文書課長 公 信 案

昭和八年四月拾日 發送済

淨書

正校原稿

(淨書)

(甲號用紙)

文書課發送

昭和八年四月拾日 發送済

主 管 文化事業部 主任 第一課長

主 任 第一課長

淨書

正校原稿

(淨書)

文化 普通 第 一 公 信 號

大正昭和八年四月拾日 附

附屬書 一 通

受信 農林次官

發信 有田次官

人名 石黒忠篤

人名

有田次官

件名

滿洲國農學者王、莊西氏紹介ノ件

名 込 綴

公 信 案

外 務 省

并啓陳者本書持参考者滿洲國實業部
總務司調査科々長王慶三(北海道農大林科
出身)、同部農鑛司農務科々員莊南永

(東京農大農学科出身)両氏、今般東京に於

て開催ノ日本農學會大會、滿洲國例ヲ

什表レ参考列セラルル方、有之候處は、概今、

本邦ニ於ケル實業農林方面、見聞ノ廣

度、趣ヲ以テ貴者ヲ訪問セシ候ニ付、右等

了知ノ上出来得ニ限リ便宜供與方可然、

配慮相煩度、其般紹介等々及所依頼候

公 信 案

外 務 省

H-0589

電信課長

大臣
次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先



昭和8 七一六〇 時

新 京 本 省

三月卅一日後着

文 化

内田外務大臣

武蔵大使

第三三三號 (至急)

青電第二二八號ニ關シ

滿洲國側ニ於テハ王慶三 (實業部總務司科長北大農學部出身) 及莊

開永 (實業部農礦司科員東大農學部出身) ノ二名ヲ派遣スル事トナ

リ四月一日當地發京城經由東京着ノ豫定ナルカ右ノ外一名ヲ追加ノ

希望ニテ然衡中ノ概ナリ尙講演題目何レモ未定委細郵報

外 務 省

H-0589